

# LME銅相場のトレンドは「ブル」か 為替は円安の予測―第86回COMC声明

## 第86回七月のCOMC声明

- ① 電気銅建値予測 六八〇〇〜七二〇〇円
- ② 銅相場のトレンドブル
- ③ LME銅セツル予測 五、九〇〇〜六、二〇〇ドル
- ④ 為替トレンド予測 円安
- ⑤ ドル円予測(TTM) 一〇七〜一一〇円
- ⑥ スクラップ景況感

相変わらず 肩の発生は悪い 銅建値七〇万円超えにしなければ動きは回復しないと事

### 【概況】

今回のCOMCにおいては 米中貿易競争の動向に関する意見が非常によく聞かれた。  
トランプ大統領も再選に向けての対策で、サプライズで米中関係をいきなり改善させる

## JX金属グループ長期ビジョン策定

### 「技術立脚型企業」としての成長を目指す

JX金属(村山誠一社長)はこのほど、二〇四〇年JX金属グループ長期ビジョン」を策定した、と発表した。

現在、アジア等新興国の経済成長とそれに伴う中間層の増大による資源不足、少子高齢化や産業空洞化等による国内市場の縮小など、同社グループを取り巻く事業環境は大きく変容している。この中で、IT、モビリティをはじめとする各産業でデジタルデータの活用が進展し、先端素材に対するニーズがさらに拡大していくことが見込まれている。

こうした状況を受け、今回策定した同ビジョンでは、長年培ってきた技術や知見を活かし、高付加価値な製品・技術を提供する「技術立脚型企業」としての成長を目指すことで国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の実現に貢献していくこととし、そのための基本方針を定めた。

▽技術による差別化をキーワードに、同社各事業を「フォークス事業」と「ベース事業」のいずれかに位置付け、フォークス事業を成長戦略のコアとするとともに、ベース事業が組織基盤を支える。  
▽先端素材に不可欠な素材として銅とともにレアメタルも中心ドメインと位置付ける。  
▽新規事業の創出に向け、外部リソースを活用する共創型の開発体制とする。

### 可能性あり。

ただ協議したところで簡単に双方が合意できるはずもなく、トランプ氏のTwitter砲で新たな関税をちらつかせて、そのたびに相場は足を引っ張られる展開が今後も続くとの意見もあった。  
これらを踏まえ、当委員会としては、ブル「強気」との予想。

### 【議長】

橋本健一郎(橋本アルミ)

### 【委員】

- 荒井義明(荒井明商店)
- 角井聡一郎(角井地銅商店)
- 勅使河原孝行(テシ商店)
- 棚町祐次(IRユニバース)

▽キャリアパスの抜本的見直しなど、技術立脚型経営に向けた組織構築・人材育成を行っていく。

今後、同社グループは、同ビジョンで定める基本方針に基づき、グループ一体となって事業活動を推進し、先端素材の提案・提供を通じて社会の持続可能な発展と革新に貢献していく考えである。

LME 非鉄在庫 (7月2日発表分)

	入庫	出庫	7月1日現在	増	減
銅	275	1,250	239,925	-	975
G A W	0	0	0	±	0
G A C	275	1,250	239,925	-	975
す ず	0	0	6,410	±	0
鉛	0	1,250	64,500	-	1,250
亜鉛 SHG	0	1,625	93,500	-	1,625
アルミ	0	4,675	984,450	-	4,675
々 二次合金	0	200	5,740	-	200
ニッケル	1,056	1,266	161,448	-	210
アルミニウム(NASAA)	0	360	92,980	-	360